

第3章 教育・子育て

12. 学校教育

13. 子育て支援

基本施策12 学校教育

担当 教育総務課・学校給食課・学校教育課

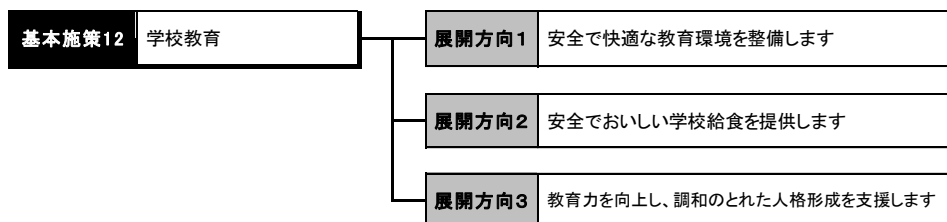
◆基本施策の目的

学校・家庭・地域との連携・協力のもと、知・徳・体の調和のとれた人格形成を目指します。社会において自立して生きていくための基礎的な力を養います。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
こどもが学校へ元気に通い、学校で楽しく過ごしていると思う保護者の割合	%	92.7 (H24年度)	—	92.9			↗
学校が楽しいと思うこどもの割合	%	89.9	90.8	92.0			↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
28	小牧南小学校改築事業(小学校施設営繕事業) 【教育総務課】	175,300	基本構想 基本計画	基本設計	実施設計

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
29	コミュニティ・スクール導入検討事業(特色ある学校づくり推進事業) 【学校教育課】	135	検討		
30	外国人児童生徒教育推進事業 【学校教育課】	(注10) (7,956)	拡充 実施	⇒	⇒
31	JFA こころのプロジェクト「夢の教室」開催事業(特色ある学校づくり推進事業) 【学校教育課】	19,582	実施	⇒	⇒

(注10)事業費を括弧しているものは既設予算内で実施する事業です。

新規

コミュニティ・スクール導入検討事業

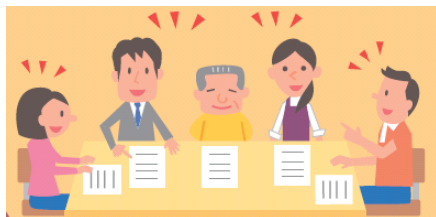
教育委員会 学校教育課

- 1 予 算 額 135千円
- 2 目的及び効果 地域関係者などで構成するコミュニティ・スクール導入検討委員会を設置し、小牧市において導入する小牧市モデルのコミュニティ・スクールの検討を進めます。
- 3 事業概要 コミュニティ・スクールの導入を協議する場として委員会を設置します。

●コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

教育委員会がコミュニティ・スクールとして指定した学校には、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営について意見を述べるなど、地域が学校運営に参画する取組が行なわれます。



基本施策13 子育て支援

担当 こども政策課・保育課・生涯学習課

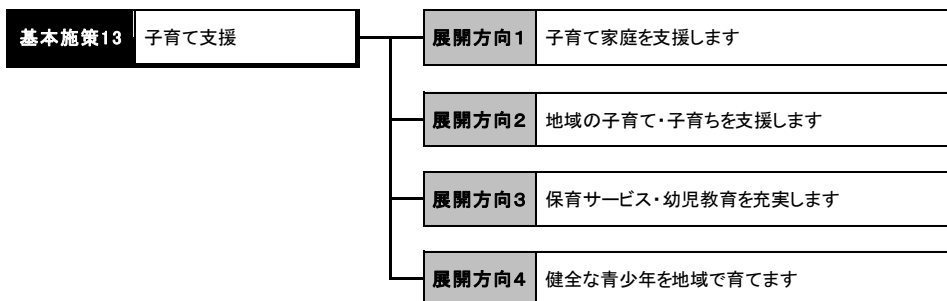
◆基本施策の目的

子育てをしているだれもが、安心して子育てができる体制を整えるとともに、こども自身が健やかに成長できる環境を整えます。

◆基本施策の進捗状況を測定するための指標

指 標	単 位	基準値	H26	H27	H28	H29	目指す方向性
合計特殊出生率	—	1.54 (H25 年)	—	1.59 (H26 年)			↗
安心して子育てができるまちと思う市民の割合	%	59.5	56.5	52.9			↗
これからも小牧で育っていききたいと思うこどもの割合	%	79.1	82.1	81.0			↗

◆基本施策の体系



◆主な計画事業

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29 年度	30 年度	31 年度
32	こどもの貧困対策検討事業(一般事務事業) 【こども政策課】	700	実施		

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
33	ひとり親家庭等支援事業 【こども政策課】	38,200	実施	⇒	⇒
34	利用者支援事業(子育て支援センター運営事業) 【こども政策課】	(注 11) (17,676)	実施	⇒	⇒
35	学習支援事業「駒来塾」(こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	4,277	実施	⇒	⇒
36	プログラミング講座(こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	480	実施	⇒	⇒
37	市内産業見学会開催事業(こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	1,038	実施	⇒	⇒
38	コマキッズ ドリームバスギャラリー(こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	903	実施	⇒	⇒
39	夢にチャレンジ助成金支給事業(こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	5,844	実施	⇒	⇒

(注 11)事業費を括弧しているものは既設予算内で実施する事業です。

第3部 分野別計画編

第3章 教育・子育て

番号	事業名	H29～H31 事業費 (千円)	29年度	30年度	31年度
40	大学生等海外留学奨学金支給事業(こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	11,229	実施	⇒	⇒
41	こども夢サポーター制度(こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	1,320	実施	⇒	⇒
42	児童館の英語事業(一般事務事業・児童館管理運営委託事業) 【こども政策課】	4,335	実施	⇒	⇒
43	待機児童解消事業 《地域型保育》 【保育課】	49,873	実施		
44	待機児童解消事業 《認定こども園》 【保育課】	194,000		実施	⇒
45	私立保育園委託等事業(教育・保育事業) 【保育課】	1,559,000	実施	⇒	⇒
46	創垂館修繕事業(青年の家施設整備事業) 【こども政策課】	79,340	設計 工事	⇒	

新規**こどもの貧困対策検討事業**

こども未来部 こども政策課

1 予 算 額 700千円

2 目的及び効果 愛知県が平成28年度にこどもの生活実態を把握するため「愛知こども調査」を実施しました。市では調査結果をもとに、必要とされる施策を検討し、子育て支援や青少年育成の推進を図ります。

3 事業概要 愛知県が行ったこどもの生活実態調査における小牧市分の集計結果が平成29年3月に情報提供される予定であり、その集計データの分析を行い、小牧市の実態を把握して、こども・子育て会議において必要な施策を検討します。

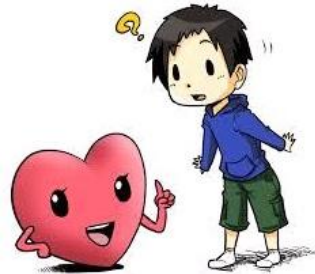
調査対象者 約33,000人

(うち小牧市約700人)

小1保護者

小5保護者・児童

中2保護者・児童



新規

ひとり親家庭等支援事業

こども未来部 こども政策課

1 予 算 額 12,400千円

2 目的及び効果 ひとり親家庭等のこどもが大学等に進学しやすい環境をつくり、また親と子の学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、安定した雇用につなげていきます。

3 事業概要

○ひとり親家庭等入学支援金給付事業 12,000千円

ひとり親家庭等のこどもが大学等に入学する際の準備に必要な費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、進学しやすい環境をつくり、自立を支援します。

対 象：小牧市遺児手当受給世帯

補助額：ひとりあたり120千円

○ひとり親家庭等高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 400千円

高校を卒業していないひとり親家庭の父母や、20歳未満の子を対象に、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座受講料の一部を助成します。

対 象：児童扶養手当の受給または同等の所得水準にある世帯で高等学校を卒業していない母又は父及びそのこども

補助額：

修了時給付金 費用×20％(上限100千円)

合格時給付金 費用×40％(修了時給付金と併せて150千円)

合格時支援金 合格時給付金と同額(こどものみ対象)

※初年度は修了時給付金を予算計上

待機児童解消事業《地域型保育》

こども未来部 保育課

1 予算額 49,873千円

2 目的及び効果 待機児童の多い0歳児から2歳児の保育需要に対応するため、小規模保育事業を実施する事業者を公募により選定します。また、保育需要の高い地域に必要な量を確保し、待機児童の解消を図ります。

3 事業概要

(1) 公募による小規模保育事業者の選定

公募の概要(予定)

小規模保育事業の開始年月	平成30年4月
小規模保育事業所の募集箇所数	3箇所程度

(2) 施設改修費補助

公募により選定した事業者が小規模保育事業を開始するための準備にかかる経費(改修費等)の一部を補助します。

補助額:

補助基準内において対象経費の3/4



小牧市待機児童解消実行プラン

現在の状況

○待機児童数の推移 (人)

	H24.4.1	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1
待機児童数	31	39	49	31	27

○平成28年4月1日現在の年齢別・地区別待機児童数 (人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4～5歳児	計
東部	0	2	1	0	0	3
中部	0	14	3	1	0	18
西部	0	5	1	0	0	6
計	0	21	5	1	0	27

○待機児童の要因

入園申込児童数が前年度比85人の増

(うち1・2歳児で76人の増)

プランの概要

○5つの取組みで継続的な待機児童ゼロ

0～2歳児への対応を急ぐとともに、その先の3～5歳児への対応を進める

取組み	28年度 (実績)	29年度	30年度	31年度	入園確保数	
					0～2歳児	3～5歳児
①小規模保育事業の推進	開設 (5箇所)	開設 (2箇所) 公募 (3箇所程度)	開設		176人	—
②私立幼稚園の預かり保育の推進	PR 委託実施	⇒	⇒	⇒	※	※
③事業所内保育事業の推進	PR	⇒	⇒	⇒	※	—
④私立幼稚園の認定こども園への移行支援	補助制度の 創設	開設 (1箇所)	支援	⇒	16人	27人
⑤市立第一幼稚園の認定こども園への移行	認定こども園への移行に向け保護者説明会を開催してきたが、配置図案などについて更に検討が必要なことから、引き続き検討を進める。				※	※

※具体的な人数は未確定

プランの内容

① 小規模保育事業の推進

◎ 0～2歳児の中部地区での保育需要に対応するため、小規模保育事業の推進を加速化します。

内 容	・保育需要の多い中部地区において、小規模保育事業を実施する事業者を公募します。
効 果	・保育需要の多い地域に小規模保育事業を開設させることで、必要な場所に必要量の確保ができます。

② 私立幼稚園の預かり保育の推進

◎ 保護者の選択の幅を広げるため、私立幼稚園で実施している預かり保育の拡充を支援します。

内 容	・従来から私学助成を受けて実施している、私立幼稚園の預かり保育について活用をPRLします。 ・私立幼稚園において、在園児を対象とした、子ども・子育て支援新制度による一時預かり事業を委託実施します。
効 果	・家庭での保育が一時的に困難になった場合でも、在園のまま一時的に預かることにより、保護者の選択肢を拡大し、待機児童の解消につながることが期待できます。

③ 事業所内保育事業の推進

◎ 市内には多くの企業が立地しており、事業所内保育事業のメリットなどをPRL、事業所内保育事業を推進します。

内 容	・関係機関の協力を得ながら各企業を訪問し、事業所内保育事業のメリットなどをPRLしていきます。
効 果	・地域枠(地域の保育を必要とする児童が対象)を設けることにより、保護者の選択肢を拡大し、待機児童の解消につながることが期待できます。

④ 私立幼稚園の認定こども園への移行支援

◎ 国の補助制度を基本とし、待機児童解消に寄与するよう「小牧市子ども・子育て支援事業計画」との整合を図りながら進めていきます。

内 容	・認定こども園への移行に必要な費用の一部を補助します。
効 果	・保育を必要とする児童を受け入れることにより、待機児童の解消につながることが期待できます。

⑤ 市立第一幼稚園の認定こども園への移行

◎ 0～2歳児の受入れ枠を拡大するとともに、市内私立幼稚園の認定こども園化のモデルケースとして市立第一幼稚園を認定こども園への移行を検討中です。

内 容	・認定こども園への移行に向け保護者説明会を開催してきましたが、配置図案などについて更に検討が必要なことから、引き続き検討を進めます。
効 果	・これまでの蓄積を活かし、保育・幼児教育と小学校義務教育との橋渡しの中心的役割を担うことができます。 ・私立幼稚園が認定こども園に移行する場合のモデルケースとなることが期待できます。

新規

創垂館修繕事業

こども未来部 こども政策課

1 事業年度 平成29年度～30年度

2 予算額 24,940千円(総事業費 79,340千円)

3 目的及び効果 築120年以上経過した創垂館は、建物の各部が老朽化しており、平成24年8月から利用を中止しております。こども向けの講座や茶道・華道など文化的活動等を中心に行う施設として、利活用の再開をするため修繕工事を行っていきます。

4 事業概要

復原調査研究・耐震診断・修繕工事

平成29年度 耐震補強、解体工事、土台修繕工事等

平成30年度 復原工事、建具工事、電気・給排水設備工事等

